

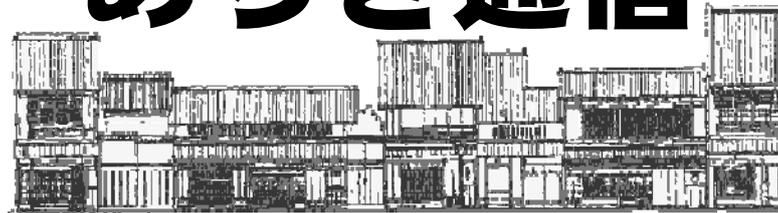
# あらかき通信

(株)アラキ工務店 編集・発行 村上 幸男

〒615-0906 京都市右京区梅津高畝町 52-2

Tel 075-882-8668 Fax 075-872-0223

<http://www.kyoto.zaq.jp/araki/info@kyoto-kozai.com>



少し前まで半袖で走り回っていましたが、

すっかり冬らしく寒くなってきました。

## ありがとうございます

8月以後、大きな町家の改修が同時に複数軒始まりまして、職人さんがあちこちの現場を掛け持ちしてこなしている状態です。同時に始まると今度はほぼ同時に終了しますので、このときは次の仕事の確保に今から打合せを忙しくしています。同時ではなく、順番に始まると、職人さんの用意が楽なのにと、贅沢なことを思っています。いやいや仕事があるだけ恵まれていると感謝しています。



伏見での大きな町家の改修工事に、武庫川女子大学の建築学科の皆さんがフィールドワークにて見学をされました。

荒木会長が講師で教えている生徒さんたちです。約40名での御来場。広いので全員が入れるのですが、やはり2班に分けての見学です。

受けるアラキ工務店側としては、前日に屋内の全ての材料等を片付けるか、別の場所に移動しなくてはなりません、これが大変です。ほぼ半日仕事になりません、それでも会長のためと思い皆で片付けます。

荒木 勇

## 植木と車の衝突の修繕後始末

長い荷物を積んだトラックが角を曲がる時に枝を引っ掛けて太い枝をぼっきりと折り、折れた枝が紋付の瓦を直撃し10数枚割りました。すぐ見に行きます。

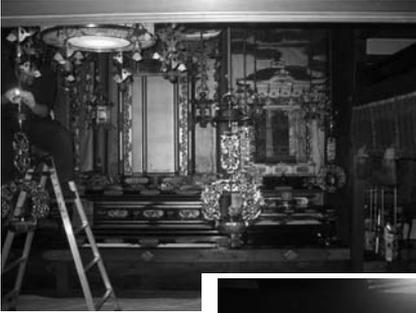
保険会社への連絡、見積り、工事の用意と次々とこなしますが、肝心の紋つきの瓦が20日以上かかります。

お得意様からは早くしろと言われるし、保険会社からも早く請求書を送れと言われる。その度にスイマセンというのですが、ア、なんか変だな、何で私があやまるの。



## 今、こんな仕事をしています。 法輪寺様の大改修

西本願寺さんの近くのお寺を内陣内の改修、外部の改修、トイレのやりかえ、屋根の大改修、を行います。まずは近況から。



遷座祭の後、御本尊に御開祖様の館を移動します。

内陣内の飾り物の一切を仏具商が持ち帰り修繕化粧直しをし、後日に搬入します  
飾り金物も再度鍍金を施します。



工事開始



畳を上げ、床板をめくり、ジャッキアップして床のレベルを調整します。

同時に外部では植木の移動。

基礎工事が始まります



ここは内陣の後ろの壁の外側です。ここも改修し傾いている壁を起します。7cmほど起しました

内部では内陣の天井や柱を洗います。  
長年の蝋燭やお線香の煤で汚れているのを綺麗にします。かなり落ちました。



現在工場にて、材木の加工中です。向拝の飾り柱や木鼻の彫り物、蛙股、枅組みの彫刻も進んでいます。もうすぐ現地での組立です。これからが大仕事です。

## 住まいについてのいろいろな話し 第13回

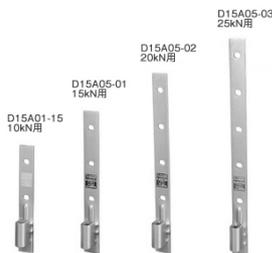
耐震補強についていろいろと考えます。

甚大な地震災害が起きると、耐震基準が引き上げられます。そうなるとうまでの家や建物は全て耐震不足となり、耐震補強をせよとやかましいことです。勿論、絶対に壊れない家を造れといわれれば、できないことはありませんが、住むには不自由な建物になり。あまりお勧めできません。快適さと耐震性能とはバランスをとり、ある一定の基準を満足すれば、それでよいと考えるのもひとつの考え方です。

そこで我々が使っている補強金物をいくつか紹介します。代表的なものです。



●筋交プレート 柱間に入れる筋交いの端部と柱や土台、梁とを強固に止めます。昔は釘を2~3本で打っていましたが、今では全てこの金物を使います。いろいろな形があります。アラキ工務店ではこれに統一しています。



●羽子板ボルト 土台と土台、梁と梁をTの字形に止めつけて離れないように緊結するときに使います。古くからある金物です。昭和初期の建物でも見受けられますが、現在の物は耐力計算した上でのものなので、用途により使い分けます。



●ホールダウン金物 土台と基礎コンクリートとを緊結するときに使います。木造3階建てにはかなりたくさん使います。これも用途により、1トン~2.5トンタイプまで使い分けます。

●スリムプレート 柱と土台や梁を直角に緊結するときに使います。地震で柱が土台や梁から抜け出さないようにです。



●仕ロダンパー これは少し変わっていて、柱と梁の接合部に使い地震時の傾きをハイポリマーゴムの力を利用し吸収するものです。直角についている時には何も力を発揮しませんが、傾けば傾くほど力を発揮するダンパーです。上記の4種類の耐震金物とはまったく逆の考え方で、免震金物です。改修工事によく使います。

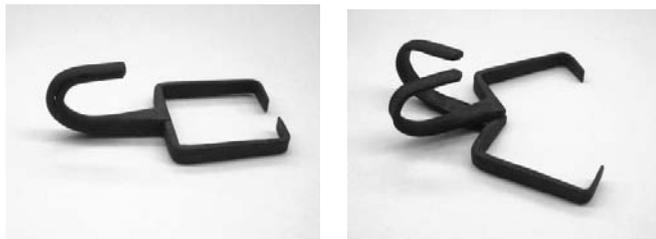
これは荒壁に似た性質を持たしています。荒壁も平常時には何も力はできませんが、傾き始めると土部分のめり込みが、地震エネルギーを吸収するように働き、傾けば傾くほど土のめり込みや潰れが大きくなり力を発揮します。

筋交いでは柱と梁とで強固な3角形を作り、ピクともせずに耐えるのが筋交いです。ただ限度を超えると一挙に破壊され、性能は0になります。

昔から日本の家屋はこの荒壁の性質をよく利用し作ってきましたが、戦後、筋交いを使う工法での建て方が普及し、また確認申請を提出するにはこの方法が有利とされ、荒壁はほとんど用いられなくなりましたが、近年荒壁型の耐力の出し方が見直され、いろいろな機器や部品に利用されています。硬くはないが、柔らかく粘りがある耐震性能といえます。

## 古い町家で見つけた古い金物

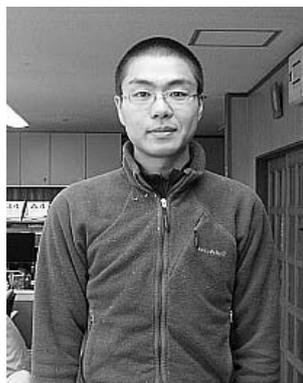
これはお茶室の天井についていた簡易型のヒル釘です。天井の竿縁部分に取り付いていた状態ではこうですが、取り外しにはこう開きます。最初はずし方がわからなくて、ゴソゴソしていたら、パカッと開いて吃驚しました。すごく丁寧な造りで、閉じているとほぼ見ただけでは開くとは見えません。昔の人は丁寧に造っているよね。今、私の机の上の飾りにしています。



またこれは古い建具の車です。ここで初めてみました。車輪が金属でもなく今のプラスチックでもなく、何だかよくわかりません。これも机の上の飾りにしています

## 11月からの新入社員です 松原 豊 君です

現場監督での業務につきます。これからいろいろと仕事を覚え、皆と一緒に頑張ってもらつつもりです。



### 自己紹介

富山県からでてきました。京都の方の言葉づかいや、住まいの文化にはまだ不慣れな面もありますが、お施主さんに可愛がっていただける監督になれるように、仕事に励みたいです。

### 【先輩から一言】

監督の仕事は、非常に範囲が広くまた深く知ることが必要です。今すぐには役に立たない知識や経験でも、必ず後で知って良かったと思うことがあります。ですからなんでも興味を持ち。やってみることで、必ず報われます。



### 【編集後記】

東北大地震が起って震災で工場が破壊され、小さな部品が入らずに、大きな商品が完成できずにストップし、建築業界も大変困りました。復旧には半年かかるからといわれ、仕方なく代替品の機器を買ったらその2週間後にはもう生産が開始され、半年入らないといわれた機器が入るようになり、代替の機器が余りました。トホホ、何ヲシテイルノヤラ。それにつけても日本の企業はえらいと思います。あつという間に別のところで生産開始し、瞬く間に全国に送り出すのですから。

村上